



～広域紋別病院だより～



広域紋別病院公式チャンネル

@広域紋別病院公式・チャンネル登録者数14,300人
開設しました！

広域紋別病院の公式アカウントです。...さらに表示

チャンネルをカスタマイズ

動画を管理

ホーム

動画

再生リスト

投稿



病院紹介動画

▶ すべて再生



広域紋別病院 病院紹介動画

2026年度版

健康に役立つ情報を
更新していく予定です



目次

1. 表紙
2. 新しい医師の紹介
3. 部署紹介・新人挨拶（看護部、薬剤部、保健医療連携室）
4. 院内院外活動
5. 健康レシピ（栄養科）
6. クイック健診・肺がんCT検診とお手軽脳ドック
7. 来院前A | 問診のお知らせ・職員の募集について・編集後記

病院理念

みなさんと心をひとつに、互いに尊敬と感謝の気持ちを共有し、笑顔の医療を提供します。

- ・常に、質の高い医療を安全・確実に提供します。
- ・生命、人としての尊厳を敬い、心のかよう医療を提供します。
- ・人材の育成に努め、働く喜びを共有できる環境づくりを進めます。

新しい医師の紹介

☆川上 憲裕先生（泌尿器科）

2025 年 10 月より、広域紋別病院で泌尿器科の常勤医師として勤務しております。私は 2003 年 4 月から 2006 年 3 月まで、前身である道立紋別病院に在籍しており、このたび再び紋別の地で診療に携わることができたことを大変うれしく思っております。十数年ぶりに泌尿器科の常勤医として、地域の皆さまが安心して相談できる診療体制づくりに貢献していきたいと考えています。

泌尿器科では、排尿に関するトラブルや前立腺疾患、尿路感染症、血尿、尿路結石など、日常生活の質に深く関わるさまざまな症状や病気を扱います。一方で、「受診しづらい」「年齢のせいと思って我慢してしまう」といった理由から、相談が遅れがちな分野でもあります。どのような小さな症状でも、まずは気軽にご相談いただくことを大切にしたいと思っております。

当院では手術は行っておりませんが、必要に応じて北見・旭川・札幌などの専門医療機関と連携しながら、適切な診療につなげてまいります。なお、趣味は小説や漫画、アニメなどのサブカル全般で、日々の楽しみの一つとなっています。診療の場でも少しでも緊張が和らぐよう、話しやすい雰囲気づくりを心がけてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

新しい医師の紹介

☆手石方 康宏先生（産婦人科）

2026 年 4 月から広域紋別病院・産婦人科に勤務しております、手石方康宏（ていしかたやすひろ）です。

三重県出身です。北海道大学で化学、分子細胞生物学などを学び、その後、三重大学医学部を卒業しました。三重県（4 年間）、岡山県（2 年間）、三重県（5 年間）、愛知県（1 年間）を経て、再び北海道で勤務することになりました。

約 30 年前、札幌で学生生活を送っていた頃は IT 革命の黎明期でした。その後も世界は変化し続け、現在は AI 革命の時代です。テクノロジーの発展は医療現場にも大きな変化をもたらしました。インターネットの普及により、地域による医療情報格差は縮小しました。検査・治療機器の性能も向上しました。低侵襲手術が一般的になり、新薬の臨床研究も盛んです。

人はどこに住んでいても心身の不調を抱えることがあります。そうした不調や病気とどう向き合い、生きていくのかは、人生の大きな課題だと思います。

未来はいつも不確実ですが、AI などの技術の発展が私たちの助けになると期待しています。「これまで」を踏まえながら、「これから」を考え続けたい。そして、「善く生きたい」と思います。身体のことでも気になることがあればどうぞ気軽にご相談ください。

新しい医師の紹介

☆竹野 建一先生（整形外科）

2026 年 4 月より整形外科の医師として勤務させて頂いております、竹野建一と申します。

私の簡単な略歴です。

1973 年紋別市生まれ、紋小、紋中出身

当時は小学校 5 クラス、中学 7 クラスでした。

小、中学で水泳、スキー、小学で野球、中学ではバスケットボールをしていました。

1989 年 4 月 函館ラサール高校入学

1992 年 3 月 同卒業

1994 年 4 月 福井医科大学医学部入学

大学では弱小ラグビー部でフォワードをしておりました。

2001 年 4 月 福井医科大学医学部整形外科入局

2006 年 4 月 福井大学医学部リハビリテーション科 助教

2007 年 10 月 博士号取得

2012 年 4 月～2026 年 3 月 福井県小浜市杉田玄白記念公立小浜病院で一般外傷、変形性関節疾患の患者さんを診ておりました。（この春フジテレビ月 9 のドラマ、「サバ缶宇宙へ行く」の舞台となっている小浜市の公立病院です。）

高齢の患者さんを診ていく中で、その御家族が離れた都市におられるのを診ているうちに、自分も紋別に住んでいる親と離れて暮らしているなあと、ここ数年で思うようになり、ちょうど子供の進学が福井県外であったこともあり、単身思い切って地元に戻ってきました。

趣味は特にありませんが、コロナ禍に船舶免許を取り、鯛釣り等をしていたので紋別でも海釣りをしてみたいと思っています。また息子が小さい時から水泳をしていて、高校も水泳で進学したので、今後もその応援をしていきたいと思っています。

他にはロサンゼルスドジャースの大谷翔平の活躍をチェックすることで、今後できればロサンゼルスドジャース球場へ試合を見に行きたいと思っています。

今後とも何卒宜しくお願いいたします。

新しい医師の紹介

☆飛島 優也先生（小児科）



皆さん初めまして 2026 年 4 月から小児科の医師として勤務させていただきます、小児科専攻医 1 年目の飛島優也と申します。旭川生まれ、旭川育ちですが、大学入学までに 3 浪し、入学後も 1 留し、と紆余曲折がありながらもここまでたどり着きました。

大学在学中は山岳部・水泳部・漢方研究会に所属し、仲間たちと共に山に登り、プールで泳ぎ、漢方を味見しておりました。楽しかった山は長野県の槍ヶ岳、得意な泳ぎはクロール、美味しかったと思う漢方は甘麦大棗湯で

す。その他にも本を読んだり、凝った料理をしてみたり、万年筆やインクを集めたり、スキーをしたりと広く浅くいろいろな物に手を出しています。食べることも大好きで紋別の美味しい海産物や興部の乳製品などたくさん食べつくしてやろうと画策しております。

医師としてはまだまだ未熟な若輩者であり、浅学非才の身ではありますが 1 日でも早く立派な小児科医となれるよう日々精進致しますので、温かく見守っていただけると幸いです。日々の診療で一人でも多くの子供を元気にするため微力を尽くしますので、よろしくお願いいたします。

新しい医師の紹介

☆吉野 聡史先生（総合診療科）

持続可能な地域医療へ：人と未来をつなぐ架け橋に

新緑の候、皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。2026年4月より、札幌医科大学オホーツク西紋別地域医療教育学講座の特任准教授を拝命いたしました、吉野 聡史と申します。同時に、広域紋別病院の総合診療科医師として、紋別市ならびにその周辺地域における地域医療の最前線に携わることとなりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私はこれまで、鹿児島大学およびその関連施設において、循環器内科医師として心臓・血管カテーテル治療をはじめとする循環器救急医療の最前線で多くの患者様の診療にあたっていました。一分一秒を争う急性期医療の現場で培った経験と判断力を活かし、今後は「地域医療の発展」と「次世代の医師育成」という新たな使命に全力を尽くす所存です。

着任にあたり、私がこの地域で取り組みたいテーマは主に3つあります。

1つ目は、**広域紋別病院の総合診療科医師として、地域のみなさんの健康を支えること**です。これまでの専門領域である循環器疾患はもちろん、その枠にとらわれず、患者様一人ひとりの多様な症状や不安に寄り添うプライマリ・ケアを実践してまいります。

2つ目は、**この地域に赴任する若手医師の教育**です。医療の最前線で求められる実践的な知識や技術を惜しみなく伝え、彼らが地域医療の現場で安心して臨床に臨み、確かな実力を身につけられるよう指導・育成にあたります。

3つ目は、「**医師が循環する仕組み**」の構築です。若手医師がこの地域で豊かな経験を積み、一旦大学病院やその他の高度医療機関でさらに専門性を高めた後、またこの地に還元してくれるような持続可能なシステムを作りたいと考えています。魅力的な教育環境を整えることで、このエリアの医療体制を未来へ向けてより強固なものにしていきます。

地域のみなさんが「安心して暮らせる街」であり、若い医師たちにとっては「医師として大きく成長できる魅力的なフィールド」となるよう、情熱を持って日々の診療と教育に邁進してまいります。

皆様が安心して暮らせる地域医療の実現に向け、一步一步着実に歩みを進めてまいります。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

部署紹介・新人看護師挨拶（3階病棟）

3階病棟は、外科、整形外科、消化器内科、泌尿器科、産婦人科の混合病棟で、主に手術を目的とした患者さんが入院されています。患者さんが安心して手術に向かうことができるよう、丁寧な説明と術後は合併症の早期発見に努め、患者さんの苦痛やストレスが少なく早期離床、回復できるようにスタッフ一丸となり取り組んでいます。

患者さんが安心・安全な入院生活を送り、笑顔で退院することができるよう、患者さんの不安や葛藤、思い等の心に寄り添い、治療に対する知識と、看護ケアの充実を図るため日々研鑽を重ね、チームワークを大切に最善のケアを提供していきたいと思えます。



3階病棟看護師長 大川

☆新人看護師より挨拶☆

4月から3階病棟に配属となりましたM.Tです。

わからないことも多く、不安を感じる場面もありますが、先輩方に支えていただきながら日々多くのことを学んでいます。一人ひとりとの関りを大切にしながら、患者様やご家族に寄り添える看護師となれるよう頑張ります。

3階病棟 A.Kです。

今年の4月から新人看護師として働き始め、まだ分からない事が多く、業務を効率よく行えていないため、時間管理に努め、立派な看護師になれるよう学習していきたいです。

部署紹介・新人看護師挨拶（4階病棟）

4階病棟は3月に病棟編成があり、総合診療内科に加え、心療内科、眼科、小児科が加わりました。看護スタッフは新しい診療科を担当するに向けて、安全な医療を提供できるよう医師や他部署のスタッフにも協力してもらいながら病棟編成を迎えました。

看護の対象は小児から高齢者の方までと年齢は幅広いですが、「その人らしい療養生活」を大切にしながら看護していきたいです。



4階病棟看護師長 伊藤

☆新人看護師より挨拶☆

4月から看護師として働きはじめ、約1カ月半経ちました。学生の頃は実習を通して看護を学んでいましたが、実際に現場で働くなかで、看護の責任の重大さや難しさを日々実感しています。慣れない業務に不安も多く毎日が学びの連続ですが、先輩方の丁寧な指導のもと安心して働くことができます。また、患者様から温かい言葉を頂くたびに、看護師という仕事にやりがいを感じています。

まだまだ知識や技術は未熟ですが、経験を積み重ねて患者様に安心していただける看護を提供できるよう努力していきたいと思います。これからも笑顔を大切にしながら日々成長していきます。

部署紹介（5階病棟）

5階病棟は、地域包括ケアを担当している病棟です。

看護師長1名・副看護師長1名・看護師14名・ナースアシスタント7名で構成されています。

地域包括ケア病床は、急性期治療を終え、病状が安定した患者様や身体的な不安・運動能力に不安のある患者様に対して、退院後も安心して在宅療養を行っていただけるよう在宅復帰に向けた支援・介護サービスの調整を行う病床です。旭川や北見など、紋別市外の病院で治療を受け、リハビリを地元で受けるために入院される方もいらっしゃいます。



病棟では、身体機能や脳機能の活性化をはかることを目的として、毎週水曜日にナースアシスタントが中心になり、折り紙や塗り絵・ゲームや体操などのレクリエーションを行っています。

5階病棟のテーマカラーは「太陽の黄色」とし、壁はもちろんのこと椅子やテーブルなど黄色を基調に統一されています。デイルームから見渡す海の景色は美しく、患者様や面会されるご家族から好評です。

医師・看護師・ナースアシスタント・理学療法士・ソーシャルワーカー・薬剤師・管理栄養士などの多職種や、訪問看護師・介護支援専門員と連携し、医療と暮らしの両面をサポートしながら、患者さんやご家族が安心して地域で生活できるように、看護を提供していきたいと思っています。



5階病棟看護師長 斎藤

部署紹介・新人薬剤師挨拶（薬剤部）

薬剤部は、薬剤師5名、薬剤助手3名で構成されています。また、今年度は新人薬剤師が着任いたしました。薬剤師の業務は、内服薬や外用薬、注射薬の調剤、抗がん剤の処方確認・混合調製業務を行っています。また、病棟での服薬指導業務や、医薬品の購入・管理・情報の収集、多職種に対する医薬品情報の提供を行っています。現在、人数は少ないですが、新しい自動分包機や鑑査機器を導入し、患者さんのもとへ、正しくお届けできるよう毎日奮闘しております。



薬剤部薬剤師 古澤

☆新人薬剤師より挨拶☆

この度、薬剤師として入職いたしました。地元である紋別に戻り、当院で勤務できることを大変うれしく思っております。まだまだ未熟で至らない点も多く、不安や責任の重さを感じることがありますが、先輩薬剤師の皆様にご指導をいただきながら、日々学びを重ねております。

今後は、一つ一つの業務を丁寧に向き合い、患者様に安心していただけるような関わりを大切にしていきたいと考えております。また、多職種の方々とも連携しながら、信頼される薬剤師を目指して成長してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

部署紹介・新人社会福祉士挨拶（保健医療連携室）

保健医療連携室では、主に転院や退院に関する手続きや患者さんの介護保険・福祉制度の利用確認、連絡調整等を行っています。患者さんが今後もより良い暮らしとなるために、退院後の暮らしについて調整していく役割となっています。また、他の病院からの紹介を受け外来予約を行ったり、反対に当院から他の病院への外来予約も行ったりと患者さんがスムーズに受診できるよう調整しています。

保健医療連携室の取り組みについては、当院ホームページをご覧ください。

☆新人社会福祉士より挨拶☆

私達はオホーツクで生まれ育ち、名寄市立大学で社会福祉士について学んでおりました。この度、慣れ親しんだ地域で働くことができとても嬉しく思います。

現在は、先輩方の後ろにつきながら患者さん・ご家族との面談に同席し対応の仕方や動きについて学んでいます。少しずつ1人で行うことも増えており、不安はありますがその都度丁寧なご指導をいただきながら日々熱心に取り組んでいます。

まだ業務について学んでいる最中ではありますが、患者さん・ご家族に寄り添い、頼っていただけるような社会福祉士となるためにこれからも頑張ります。よろしくお願いいたします。



院内・院外活動報告

<第 63 回全国自治体病院学会への参加>

令和 7 年 10 月 30～31 日に開催された、全国自治体病院学会(群馬)に参加し、当院からは下記の 5 演題を発表しました。

- ・ 超音波検査における尿音波エラストグラフィ機能の導入までの取り組み 発表者：日野 椋世
- ・ 当院の肩関節関連疾患保存療法の治療成績―地域医療における回復の可能性を探る― 発表者：菅野 尚宏
- ・ 高齢糖尿病患者の自己注射手技への支援 発表者：長谷部 詩絵里
- ・ 口腔環境の改善に向けた取り組み～口腔アセスメントガイド(OAG)を用いて～ 発表者：工藤 佳奈
- ・ 郵便局を地域医療のサテライトに～診療看護師とともに切り拓くオンライン診療の可能性～ 発表者：曾ヶ端 克哉

約 1200 演題ある一般演題の中から病院あるいは地域医療に対する貢献度が高いと認められる 40 演題が優秀演題として推薦され、当院から工藤佳奈看護師と曾ヶ端克哉院長の発表演題が優秀演題に推薦されました。今後も地域の皆様に質の高い安全な医療を提供できるように努めてまいります。



院内・院外活動報告

<地域医療セミナー>

令和7年12月11日に当院にて地域医療セミナーを実施し、江別市の立命館慶祥高等学校2年生で医学部進学を目指す21名が参加しました。曾ヶ端院長から地域医療の現状や医療DX等についての講義や診療現場の見学、内視鏡や腹腔鏡手術機器、超音波エコーなどの体験を、看護部と保健医療連携室からは、医師以外の医療職から地域事情についての講義をしました。またセミナー中に当院にて実習中の医学生や初期臨床研修医と会話し、色々な質問をしていました。今回の体験で地域医療を志す学生が増えることを願い、今後も同様の活動をおこなってまいります。



<クリスマスコンサート>

令和7年12月23日の夕方、当院の正面玄関ホールにてフルートデュオの emina×eminaさんを招いてクリスマスコンサートを開催しました。コロナ禍を経て5年ぶりの開催となりましたが、入院患者さんをはじめ市民の方々また我々職員もすてきな演奏にとっても癒されました。



院内・院外活動報告

<助産師活動について>

私たち助産師は、産婦人科外来の診療介助や、分娩・産後ケアに携わる傍ら、思春期教室や中学校の性教育、紋別市保健センター子育て講座、ちびっこワークフェスへの参加など、地域に根ざした活動も行っています。



今年度からは新たな取り組みとして、理学療法士さんと共同で企画・運営し、妊婦さんを対象とした「腰痛予防教室」も開始しました。参加された妊婦さんからは「日常生活で意識できることが分かり安心した」といったお声をいただいています。

昨年度は、潮見中学校1・2年生、ゆうべつ学園7～9年生を対象に、「いのちの授業」や「多様性・ひとそれぞれ」、「将来のために知っておいてほしいこと(性感染症や避妊について)」の性教育を行いました。生徒の皆さんは、自分自身のために真剣に耳を傾け、積極的に参加してくださいました。



情報があふれる時代だからこそ、直接顔を合わせて想いをお届けできる機会を大切に、地域の皆さまにとって安心や支えとなれるよう今後も活動を続けてまいります。

院内・院外活動報告

<令和7年度 医療介護連携研修会>

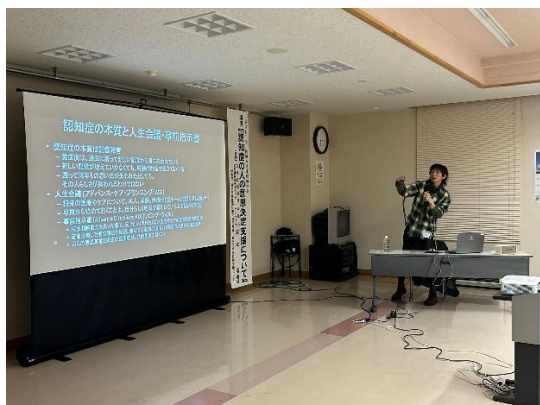
令和8年3月12日、悪天候(なかなかの大雪)の中、紋別市総合福祉センター は一とぴあで「認知症の人の意思決定支援について」というテーマで研修会を開催しました(主催：紋別市役所保健福祉部介護保険課・紋別市地域包括支援センター、2025年度認知症地域支援・ケア向上事業／在宅医療・介護連携推進に係る事業)。改めて参加者・関係者の皆さま、どうもありがとうございました。

研修会では認知症の医学的側面よりも、むしろ人権・憲法・法律・倫理など、医療・介護・福祉現場での葛藤や価値観の衝突を生む基盤や背景に焦点を当て、精神科医の視点から整理しています。繰り返し視聴できるように、YouTube「広域紋別病院公式チャンネル」に研修動画を公開しています。一般市民の皆さまには少し難しい内容かもしれませんが、それでも難し過ぎることはないと思います。約1時間と特番ほど長いですが、多くの皆さまに関心を持っていただければ幸いです。

<YouTube 広域紋別病院公式チャンネル (ぜひ登録して下さい!)>



<「認知症の人の意思決定支援について」研修会の様子>



枝豆
と
とうもろこし入り



彩り野菜のおからサラダ

材料

- | | | | |
|--------|-----------|----------|---------------|
| ■ おから | 80g | ■ 枝豆 | 20g |
| ■ きゅうり | 50g(1/2本) | ■ とうもろこし | 20g |
| ■ にんじん | 50g(1/2本) | ■ マヨネーズ | 23g(大さじ1と1/2) |
| ■ ハム | 20g(2枚) | ■ 塩、こしょう | 少々 |

作り方

- 1)きゅうりは薄切りにして塩もみし、水気を切る。
- 2)にんじんをいちょう切りにしてゆでる。
- 3)ハムを1cm幅に切る。
- 4)全ての材料を混ぜ合わせる。

1人分あたり

エネルギー	6.4kcal
たんぱく質	6.4g
脂質	12.5g
炭水化物	11.8g
食塩相当量	0.5g
食物繊維総量	6.4g

体に嬉しい食物繊維たっぷり！

食物繊維には便秘の改善や
血糖値の上昇を抑える役割があります！

季節の枝豆やとうもろこしも入っているので
お子さんでも食べやすくなっています！

クイック健診のお知らせ

パンフレットは1階ロビーにも
ございます！ご自由にお取り下
さい！

検査の種類は8項目あります

- | | |
|------------------------|----------------------------------|
| A 貧血（貧血の有無、程度がわかります） | B 肝機能（肝臓の動きがわかります） |
| C 腎機能（腎臓の働きがわかります） | D 脂質（コレステロールのバランスがわかります） |
| E 血糖（血糖値や血糖状態がわかります） | F 肺機能（肺年齢がわかります） |
| G ピロリ菌（ピロリ菌感染の有無を調べます） | H エヒノコックス抗体検査（エヒノコックス感染の有無を調べます） |



各検査「**500円**（ピロリ菌検査**1,000円**、エヒノコックス抗体検査**2,000円**）」となっており、**最低1種類、最大8種類**の検査を受診される方のご希望でお選びすることができます！

- ※ 実施時間 午前9時～午後5時
- ※ 18才以上が対象です



お問合せ先 広域紋別病院 0158-24-3111

「肺がんCT検診」と「お手軽脳ドック」

1. 肺がん検診（低線量CT検査）

対象：年齢制限なし 料金：6,105 円

一般の胸部レントゲン撮影では発見しにくい位置の病変等にも効果的で、通常より低い放射線量に抑えた低被曝のCT撮影なので安心して受けられます。

2. お手軽脳ドック（MRI検査＋ABI検査）

対象：年齢制限なし 料金：12,210 円

脳梗塞や脳出血の原因となる脳血管の状態や、動脈硬化や高血圧などと関係する身体の血管状態を調べることで予防に役立ち、認知症の兆候を知ることにもつながります。

画像診断は提携している
放射線専門医が診断します！！



※提携先医療機関に読影を依頼しているため、診断結果につきましては2週間程度で郵送されます。

◎検診に関するお問い合わせ、予約申込は広域紋別病院まで

予約専用電話 0158-28-6610（受付時間 9:00～17:00）

紋別市民は一部助成が受けられます！

- | | | |
|--------|----------|--------------|
| ①肺がん検診 | 対象：40才以上 | 助成金額：3,000 円 |
| ②脳ドック | 対象：35才以上 | 助成金額：料金の半額助成 |

※脳ドックの一部助成対象は3年に1回となっています。

※助成を希望する場合は事前申込みが必要です。申込み・問い合わせ先：保健センター（TEL24-3355）

来院前A | 問診のお知らせ

対象の方は次のとおりとなります

- ・発熱や呼吸器症状のため受診する場合
- ・当院に初めて受診する場合
- ・今までとちがう症状で受診する場合
- ・かかりつけ医等からの紹介状をお持ちになり受診する場合

詳細はホームページをご確認ください。

(スマートフォン・タブレットの方は右側QRコードからアクセスできます)



職員の募集について

広域紋別病院では、看護師・助産師・薬剤師・介護福祉士・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などの専門職のほか、日勤帯や夜勤帯での看護業務を補助していただくナースアシスタント、その他補助員を随時募集しています。また、令和8年6月中旬頃より令和9年4月1日採用の採用試験について掲載予定です。

詳細は当院ホームページでご覧いただけるほか、ハローワークでも求人票を掲載しています。電話でのお問い合わせは、下記までお願いします。

〇お問い合わせ先

広域紋別病院 事務部 総務課 職員係 Tel: 0158-24-3111

病院ホームページ: QRコード



編集：広域紋別病院広報委員会

発行：広域紋別病院

〒094-8709

紋別市落石町1丁目3番37号

TEL・FAX 0158-24-3111

病院ホームページ: QRコード



編集後記

広報誌「架け橋」夏号をお読み頂きありがとうございます。

今年度から広報誌の編集を初めて担当させて頂きましたが、編集にあたり様々な部署の方から協力を頂いたことに感謝申し上げます。各部署から提出して頂いた原稿には、病院理念に沿った内容や取り組みが書かれており、どれもわかりやすく読み応えのある文章ばかりでした。

今後も、病院についての情報を広報誌やYoutube・Instagram等を通じて発信して行きますので、どうぞご期待ください。